

令和8年度木更津市社会教育委員会議第2回定例会 会議録

1 会議名 令和8年度木更津市社会教育委員会議第2回定例会

2 開催日時 令和8年7月17日(金)午前10時～11時30分

3 開催場所 木更津市中央地域交流センター 多目的ホール

4 出席者名

委員：白石和義、石村比呂美、伊藤素子、池田秀一、水島享子、川名達也

瓦林恵里佳、近藤直弘、内田慎一郎(9名)

事務局：廣部昌弘教育長、安田貴之教育部長、水越学教育部次長兼文化課長

山下理生涯学習課長、堀田かおり係長、萩野雄大主任主事(6名)

協議事項：説明のため出席

北村晴美図書館長、松本明子郷土博物館金のすず館長

5 協議事項

(1)各種審議会・協議会報告について

(2)吾妻公園文化芸術施設について

(3)その他

6 会議の公開・非公開の別及び傍聴人の数 公開・傍聴人3名

7 資 料

令和8年度木更津市社会教育委員会議第2回定例会 次第

吾妻公園文化芸術施設の管理運営に係る今後の予定について

令和8年度木更津市社会教育委員会議第1回定例会 報告書

吾妻公園文化芸術施設の管理運営に係る基本的な考え方(案)について(答申)

(案)吾妻公園文化芸術施設の施設管理運営に係る基本的な考え方について(報告)

令和8年度君津地方社会教育委員連絡協議会研修会の実施について(通知)

8 会議の内容

事務局

ただいまより令和8年度木更津市社会教育委員会議第2回定例会を開催いたします。木更津市社会教育委員会議ですが、木更津市 PTA 連絡協議会からの推薦者につきましては現在先方で選定中となっております。現在の委嘱委員である委員は17名、本日は9名の出席です。社会教育委員会議運営規則第3条第2項の規定により、委員の2分の1以上の出席がございましたので、会議は成立しております。なお、本会議は木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されております。本日の傍聴人は3人です。以上報告いたします。

初めに、白石議長からご挨拶をお願いいたします。

白石議長

おはようございます。本日は、終業式等と重なりまして半分ぎりぎりの参加人数ですが、吾妻公園の関係等について協議していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

今日のお話の内容に追加して、今日欠席している方の意見も取りまとめ、社会教育委員としての意見として提出したいと思いますので、ご了承をお願いします。

サッカーワールドカップが今週末で優勝国が決まるところであり、私も少し寝不足がたたっております。また6月は平均気温が低かったのですが、7月になった途端、熱中症アラートが発令されたり、最近熱帯夜になったりしておりますので、本当に体調管理が大変だと思います。熱中症対策しながら今年の夏も乗り切って活動していただければと思います。

今日から、校長会選出の池田委員に出席してもらいました。貴重なご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

最近、コロナの方も少し増えてきたりしているみたいですので、そちらの体調管理もしていただければと思います。

今日は人数は少ないですが、内容的に盛り立て、皆さんの忌憚ないご意見をいただければと思います。時間に限りがありますが、よろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。続きまして、廣部教育長より挨拶を申し上げます。

廣部教育長

皆さんこんにちは。本日は第2回社会教育委員会議にお集まりいただき、誠にありがとうございます。池田委員におかれましては、本来でしたら直接委嘱状をお渡しするところですが、机上に置かせていただきました。よろしくお願いいたします。

本日、全ての小中学校が終業式で、明日から夏休みが始まりますが、報道等見ていると毎日のように水の事故が起きています。本市の中学校のプール指導はすべて座学で実技なしという形に2年前に舵を切らせていただきました。小学校は自分の命を守るという面でも大切だということなのでプール指導を行っています。プール設備が使えなくなった学校は、いきいき館までバスで移動して指導をやらせていただいています。また、すべての学校で最後に着衣水泳を行い、万が一水に落ちたときのため実技講習をやっております。

昨年度まで大変ご議論いただいた地域交流センターを、先月末から今月の初めにかけて水越次長と全て回って参りました。地域交流センターの立ち上げに向けて体制も随分整えて参りましたので、非常に順調にスタートできていると思いました。

その中でも、波岡地域交流センターに波岡中の生徒が大変たくさん来ておりまして、やはり職員の若返りとともに中学生の居場所になっているなということをすごく感じました。また、8月4日に波岡地域交流センターで「なみそら」というイベントを計画しており、裏のグラウンドで気球を上げることであり、すでにもう100人の枠が埋まっているとのことでした。

また、東清地域交流センターの行事予定に「地域交流センターの夏休み」というものが3日間あり、内容を聞いてみると、清川中学校の生徒が小学生の面倒を見るものとのことで、非常に素晴らしい取り組みだと思いました。私は「繋がり」の再構築が木更津市だけではなく、現代社会の大きな課題ではないかなと考えています。地域交流センターはダンススクールや公文等の営利目的の講座等も徐々に入ってきているということで、活性化が進んでいるのだと思います。ぜひ委員の皆様方もお近くの地域交流センターに足を運んでいただき、ご覧いただければと思います。

また、中学校の合同生徒会の今年のテーマは「地域の繋がり」ということで、地域交流センターと日常的に繋がれる方法に取り組むために動き始めておりますので、ぜひ注視していただければと思います。

本日は吾妻公園文化芸術施設のお話にもなります。私は上位目標は何なのか、手段が目的になってはいけないと考えております。今や自治会加入率が 50%を切りそうになっており、地域によっては加入率が 2 割台になっている地域もあります。市子連に加入している子ども会も大変減ってきておりますし、小中学校の不登校の増加も、おそらく根幹は地域との繋がりにあるのだと思います。

人口がほぼ横ばいというのは先月の会議でお話しましたが、人口減少が最大の課題となっています。ほとんどの自治体が10年後、20年後に3割減というのがスタンダードであります。そのため、すでに自治体内に小学校が1つ、中学校が1つのところが全国で16%となっており、適正規模かそうでなかろうが、統廃合できない自治体が多い状態の中、木更津市は 2050 年までほぼ横ばいという県の推計も出ている、非常に珍しい自治体です。やはり教育委員会としては、木更津市に住みたいと選ばれる教育や、生涯学習の施策をやっていかなければいけませんので、ぜひその辺をキーワードとしていただきたいです。吾妻公園文化芸術施設も、それぞれの目的で集まった市民の皆様方が繋がり、その繋がりを地域に持って帰ってもらってまた繋がっていくというようなことが理想なのではないかと考えており、そのためにはどうしていったらいいのかということをご意見・ご議論いただければ大変ありがたいというふうに思います。

今年はスーパーエルニーニョと言われており、エルニーニョ現象のときは大体冷夏になるとの記載があったので、もしかしたら冷夏になるのではないかという予想を立てていたのですが、3日ぐらい前から期待が裏切られました。やはり今年も暑くなりそうなので、ぜひご自愛いただきたいと思います。昨日は全国で数百人が搬送されたという報道もございましたので、お体に気をつけていただいて夏を乗り切っていただければというふうに思います。

私はこの後、定例記者会見の日程が変更になった関係で、途中で中断することになりますので、ご承知おきいただければと思います。よろしくお願いします。

事務局

ありがとうございました。今後の進行につきましては、木更津市社会教育委員会議運営規則第2条第4項により、白石議長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

白石議長

それでは、第2回定例会の次第に基づきまして進めていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

最初に、各審議会・協議会報告についてです。今年度より、新たに木更津市地域協働推進委員が選出されておりますので、報告をお願いしたいと思います。

水島委員

6月29日に第1回地域協働推進協議会に出席させていただきました。初めての会であったので、手探りの状態で様子を見ながらでした。昨年度で全地区にまちづくり協議会が立ち上がったということで、その代表の方1名ずつが出席されておりました。その方達と今後、まちづくり協議会をどうやっていくか、また今はどういう活動をしているのかというお話を自己紹介を兼ねて、お一人3分ぐら

いずつお話を伺うことができました。会が発足してから 10 年ぐらい経つという地区もあれば、この 3 月に立ち上がったばかりの地区もあり、それぞれ住んでいる人達も違えば、地域の継続的なものも違ったりして、この地区ではこういうことが課題なんだというのを木更津市内全体把握することができましたので、とてもいい会になったと思います。

どこもやはり担い手不足のことを話題にしておりました。自分たちがいなくなった後、誰がこの地区を背負っていくのか。若い人たちに頼んでも断られてしまう。せっかくいいものを継続してきたのに、この後引き継いでくれる人がいないんだよねというのがどこの地区からも、声が上がっていたように思います。中には若い会長が 1 人いらっしゃるしまして、自分は今日は仕事を休んできているのだということをおっしゃっておりまして、若い人にこういった役をお願いするとなると、どこかで何かを犠牲にしないでやっていけないんだよということを、強く訴えておりました。私も当日、半日お休みをいただいて参加しておりますので、そういったところも課題の 1 つなのかなと思いました。若い人を取り入れようとする、何か犠牲にしないものがあるのかと思いましたが、それを犠牲にとらえるのかについても、その人の価値観の違いなのかなと思いました。担い手不足が一番の課題ということで第 1 回目はお話で終了をしました。すぐお話がヒートアップして、2 時間の会だったのですが、2 時間半ぐらいかかったかなという感じです。参加させていただきありがとうございます。

白石議長

続きまして、青少年問題協議会にご参加の川名委員、よろしくお願いします。

川名委員

7 月 8 日に木更津市青少年問題協議会第 1 回が行われまして、委嘱状交付式と、木更津警察署生活安全課の係長から、「青少年を取り巻く犯罪」という講話をいただきました。あとは、関係団体の意見交換が行われ、閉会いたしました。

白石議長

他に、報告のある方はいらっしゃいますでしょうか。

それでは私の方から報告します。昨日、千葉県社会教育委員連絡協議会代議員会があり、参加して参りました。千葉県社会教育委員連絡協議会は今まで会長が袖ヶ浦市の二宮さんだったのですが、世代交代ということで、鋸南町の鈴木前副会長がそのまま会長になりましたこと、報告させていただきます。本会の理事については、君津地方四市の中で 1 人選任されるのですが、昨年度に続きまして私が理事になりますのでよろしくお願いいたします。

代議員会の後、令和 9 年度第 58 回関東甲信越静社会教育研究大会の千葉大会の話があり、君津地区は研究部会ということで分科会を担当する予定です。木更津市に関しましては第 1 分科会の「地域資源でつながる社会(地域の教育力の再生)」の会場係を担当します。分科会の場所等につきましては未定ですが、来年 11 月 19 日の金曜日は時間を作って参加していただくと非常に助かりますのでよろしくお願いいたします。

続きまして、協議事項(2)「吾妻公園文化芸術施設について」、説明をお願いします。

生涯学習課長・図書館長説明

白石議長

事務局から、現在の吾妻公園文化芸術施設についての進捗状況の説明と、図書館協議会の答申についての説明、また社会教育委員会議としての意見案を説明してもらいました。ただいまの説明の中で、ご意見・ご質問等ありましたら、挙手の上、お願いします。

近藤委員

今は色々な部が多分関わっていると思いますが、細かくどうなっているかというのは常に共有をしているのでしょうか。当然ですけれども箱の部分や方向性について、多分もう決まっていることも非常に多いと思いますが、その中で我々が今はどうなっているのだろうと思っているものもあると思います。そういうものを話せる範囲でお話いただいた方が安心感が出るかと思っております。今後の予定も重要ですし、今回は特に管理のところをどういうふうにするのかが重要だという話ですが、私達からしてみると、どういう箱ができるのだろうというところが結構気になるころではあります。ホールについての話になってしまいますが、施設全体についても、多分1つの部署がやっているわけではなく、共有しながらやっているとは思いますが、そもそもどういう進捗になっているのかというのが、もう少し具体的に知りたいです。

山下生涯学習課長

ホールだけには限っておりませんが、全体として公共施設の効果的・効率的な管理運営に向けて計画策定を行うため、関係部署との協議は適宜行われているところでございます。今後、市役所の中では、施設建設室や地域交流センターの担当である市民活動支援課、それから総務課や交通公園を担当している地域共生推進課や公園を担当している市街地整備課、そして生涯学習課が事業選定委員の構成に入っていくような形で考えられているところです。また先月、吾妻公園全体につきまして、担当課の地域政策室の方から声がかかりまして、市役所の中での共通の認識を図るという意見の場がありました。また、この計画策定委員会については図書館協議会から1名の委員を選出する予定があると地域政策室から伺っているところでございます。

安田教育部長

各課等の長を集めての会議は定期的には開催しております。また部長等で連絡調整会議というのを毎週行っておりますが、その場でも変更点やタイムスケジュール、工程等が変わった場合等の情報も共有をさせていただいております。

6月議会の中で条例制定されまして、吾妻公園文化芸術施設管理運営計画策定委員会といったものが附属機関として設置されまして、まだ会議は始まっていませんが、一応8名を委員として予定しております。学識経験者のほかは、関係団体の代表ということで、図書館協議会等にも声掛けすると聞いております。また市民委員というのを、今日まで公募をしております。おそらく公募のあった方の面接をして委員を決めるのかと思っております。市の職員につきましても、予定ではございますけれども市民協働部長と私、教育部長が入る予定となっております。その策定委員会の中で、教育部としての意見、図書館協議会や社会教育委員会会議の意見といったものを上げさせていただいて、この文化芸術施設管理運営計画を委員会で策定をいたします。おそらく12月ぐらいに素案がまとまって出された段階で、パブリックコメントとして市民の方の意見をいただきながら、3月末に策定が終了するという形になっております。

公園につきましては、令和8年度中に実施設計を企画部でやっております。その中に民間集客施設といったものがございます、例えばドッグランとかカフェとか、そういった民間の力を活用することを協議をさせていただいております。今、公募をしまして、選定委員会に諮られるというふうに聞いております。

資産管理部担当の文化芸術施設の建設に関しては、実施設計が終わり、防衛省の方の補助金をもらいに行き、内々にお金をもらえるような約束はされたと聞いております。今年度中に施設掲示の工事発注をして金額が議会案件として12月、もしくは3月に上程をさせていただくことになると思います。

また総務課や生涯学習課、図書館や市民活動支援課と所管課がそれぞれ別ですので、その関係する条例等を改正しなければならず、例規の原案の作成を今年度から来年度にかけてやるという流れになっております。最終的には令和10年度末を目途に開業できるように、全体で庁内で調整をさせていただいております。

瓦林委員

ホールと図書館、公園のこともお伺いしたいです。ホールの広さが小さくなったというお話を聞いて、生涯学習課の方にお問い合わせさせていただきました。奥が12mで、横が15.3m、高さが13.6mで、客席下からは70cmとのことで、大分低いホールなのですが、多分上の高さを作るために下を下げたのかなと思いました。最初に公にされた時よりもどのくらい小さくなったのかということをお伺いしたいです。また反響板もあるというお返事をいただいたのですが、最初のとき反響板は上から降りてくる形だったと思いますが、後ろの反響板がせり出してくる形になったとのことですが、どのように出てくるのかについてお伺いしたいです。また、後ろに反響板があるとすると、実際使える舞台はどのくらいの広さになるのでしょうか。君津市民文化ホールの大ホールは奥行きが17.67mあり、中ホールは8mなので、実際のホールだけの大きさで言うと、君文の中ホールよりは大きく、大ホールよりは小さいのですが、君文の大ホールも2mぐらい使えないところがあるので、吾妻のホールで実際使えるところはどのくらいなのでしょうか。

事務局

瓦林委員から会議前にホールについてお問い合わせをいただき、施設整備室に問い合わせ、お答えをしていたところでございます。詳細につきましては施設整備室も関係部署・関係業者とやり取りしながら調整しているとのことで、一度お預かりして施設整備室に話をし、細かい数字なども含めてご回答させていただければと思います。

瓦林委員

今図書館に行って読める本は全部そのまま吾妻に入るのでしょうか。また入った場合、予備のスペースはどのくらいあるのでしょうか。どのような計算のもとで作られるのかということと、奥にしまっているような資料をきちんと保管する場所はあるのか。司書の方がきちんと保管をし続けてくださるのかということと、素晴らしいこの図書館協議会の答申は実現していくのかということをお伺いしたいです。

北村図書館長

当市所蔵冊数は、今約37万冊ございます。本館の方に約33万冊と14の地域交流センターに、約4万冊あります。新しい図書館は38万冊で設計されており、もちろん取捨選択はしていないといけないと思いますが、基本は全部持っていくます。貴重資料につきましても、もちろん持っていく予定でございます。

す。新しい図書館の3階が郷土資料室と、かなり大きな閉架書庫になっておりますので、そちらにしまします。答申でいただきました司書の専門性についても確保する体制をお願いし、貴重資料等を郷土資料室などに保管し続けるということを行っていきたいと考えております。

いただいた答申を実現するのかどうかということですが、図書館長としては今回の答申の趣旨を重く受けとめております。新施設においても、まずは現在の図書館が長年培ってきた取り組みや地域との信頼関係を土台としながら、図書館本来の役割である資料の収集保存、提供レファレンスサービスなどの機能をしっかりと維持していくことが基本と考えており、その上で複合施設化を新たな可能性として前向きに捉え、これまで図書館にあまり接点のなかった方々にも身近に感じてもらい、図書館への来館を増やすような取り組みを進めて参りたいと思っております。また、司書の確保も重要です。先程も申し上げましたが、市の職員である司書が継続的に関与できる体制を整えるように働きかけていきたいと思っております。

瓦林委員

大分以前に公園の図面が出てきたとき、この公園の広さにしてはトイレが足りなくなかないかというお話と、公園の遊具についても図面はイメージですというお話もあったと思います。せっかく作るのでも子どもが集まるような特別な公園と言いますか、小櫃堰公園や袖ヶ浦公園のような、休みになると駐車場が満車になるぐらいたくさん来る公園のような遊具ができれば人が集まりますよね、というお話をしましたが、そこはどうなったのかということもお伺いできればと思います。

安田教育部長

今瓦林委員のおっしゃった意見は、本日の意見としてまとめて提出させていただきたいと思っております。今、企画部で実施設計を今年度中でまとめておりますので、意見を吸い上げていただきながら、設計に盛り込んでいただけるよう、こちらから働きかけていきたいと思っております。

白石議長

トイレの設置数等を、またいろいろ加味してくれるということでよろしいでしょうか。

安田教育部長

はい。

伊藤委員

策定委員会のお話等していただき分りやすかったのですが、地域政策室が出してくださったこの流れの中で、住民説明会と意見公募の実施というのが普通の木更津市民が意見を言う場だという理解でいいのでしょうか。具体的に演劇なり、クラシックなり、バレー公演なり、それぞれを何かやりたいとイメージする人たちが、「こういったものができるかな」ということを考えたいということだと思っております。そういったときに必要な付帯設備とかがこの意見公募の実施のときに言えば、十分間に合うのところが気になります。これは管理運営計画を策定するに当たっての公募であって、それに対して「演劇のプロを入れてくれ」、「クラシックのプロを入れてくれ」等を言えば、それらが安心して実現されるのでしょうか。

安田教育部長

スケジュール的には住民説明会が11月にオンラインと対面をとやられるというところでございます。またあと、パブリックコメントもそうですが、ホームページの方に掲載されている策定業務委託の仕様書には、ワークショップといった言葉も書かれております。これは一応、市の方側から事業者に向けての仕様

なので確定ではないのですが、そういったところでの意見の吸い上げもあるのかなと思っております。やはり施設があつての管理運営でございますので、関わる付帯施設等について、ご意見いただくことは可能かと考えております。

内田委員

前回のときに欠席してしまったので、話に追いつくのがなかなか難しいんですけども、今日吾妻公園文化芸術施設の施設管理運営に係る基本的な考え方についての報告が案という形で出ていますよね。これは基本的に、3月と6月と今日の会議を通じて、社会教育委員としての意見を取りまとめて、答申という形ではなく、一応報告を上げるということで理解してよろしいのでしょうか。

事務局

その通りでございます。社会教育委員会会議は教育委員に対して、意見を述べることができる機関ということで、図書館協議会は図書館長に対して意見を述べる機関であるため、諮問答申という形をとっていますが、社会教育委員としては、教育委員会会議に意見を述べるという形で皆様の意見を取りまとめたいて考えているところでございます。

内田委員

そうであるならば、この案がいいかどうかを皆さんで話し合つて、前回まで色々な議論をしたと思いますので、その議論の結果がちゃんとここに出ているかを検証しなければいけないと思います。

質問なのですが、案の1番目でホール機能のところには、「より専門性のある人材を安定的に配置できる財団法人での運営が向いていると考えます。」という形で記載があります。財団法人というキーワードが出ているのはここだけなのですよね。この案の中にはホール、図書館、そして中央地域交流センター、公園等があります。前回出ていないので分からないのですが、この財団法人の運営が向いていると考えるのはホールだけで、他は財団法人は記載をしないのかと見受けられる文章なので、教えていただいてよろしいですか。ホールだけが財団法人に向いているかというところを教えてください。

事務局

ホール機能につきましては現在、市民会館の中ホールが指定管理で運営しており、専門の方がいて、すごく寄り添っていただいてやりやすいという話が前回の会議で出たところでございます。ただ、指定管理だと期間が終わったら次の業者になってしまい継続性・安定性が保てない可能性がある。そのため、財団法人の方が継続性もあつてよいのではないかという意見があつたので、財団法人がという形で明確に書かせていただいたところでございます。

それ以外の図書館機能、地域交流センター機能につきましては専門性のある方という背景があり、財団法人や直営等についての話には特に直結しない形になっておりましたので、明言しない形にさせていただきました。公園機能につきましても運営の仕方や大きさ、規模によっても違うところがあると思うという話でございましたので、そちらについても財団法人の記載は行わなかったところでございます。

内田委員

皆さんの意見がそうだったとすればよろしいのですが、せっかく財団法人を作るので、機能だけに限定すると少しもったいないかなと思いました。専門性とか継続性を考えたときには、図書館もそうですし、地域交流センターも同じような考え方だと思うので、せっかく財団作るなら、絡めたらどうかと思ったところなんです。

事務局

ありがとうございます。確かにこの書き方だと、ホール機能だけ財団がいいという話に取られるような感じになってしまいます。一括管理をして、財団法人に指定管理をするといったところが市長部局の考えでもありますので、ホールだけが財団に向いているという風にとられないような形で、書き直しをさせていただければと思います。

川名委員

吾妻公園文化芸術施設とあるのですが複合施設という考え方でよろしいのですよね。そうした時に、全体をまとめたイメージを、私はまだ少し掴みにくかったのですが、先程教育長がご挨拶の中で波岡地域交流センターのお話をされたときに、思い出したことがあります。私は何度か行ったことあるのですが、波岡地域交流センターは後ろに大きなグラウンドがあって、交流センターの中には図書室もあって、ホールというかそれぞれの部屋があって、ちょっと複合施設を縮小したもののイメージに近いのかなと仮定を立てました。私が波岡地域交流センター行ったとき、中学生がグラウンドでサッカーをしていたのですが、1人が転んでけがして、交流センターの職員に絆創膏もらいに来ていました。多分複合施設では、ボリュームが大きくなるのですが、そういった連携について、トータルで見ていく必要も出てくるのではないのでしょうか。そうしたとき、先ほど内田委員がおっしゃっていただいたような、ホールだけではなく、全体を統括するというものはどうしても必要になってくるかと思います。例えば図書館がカフェと繋がってそこで本が読めたり、例えばホールを開放して公園の方と繋げてイベントをやるというお話も前あったかなと思います。また施設に関しても、図書館にトイレは幾つある、ホールに幾つあるというのではなく、全部の施設の中で使いやすいトイレが平均的に配置されとかという話ではないかなと思いました。大きく分けてホールや図書館、交流センターや公園という4つの施設がまとまって複合施設なのか、それとも複合施設の中に4つの施設があるのかという違いもあるのではないかなと思いました。

事務局

確かに川名委員がおっしゃる通り、今回は4つの機能が入った1つの大きな建物として、それぞれの連携を図っていくというところを前々からお話させていただいたところでもございます。そのため、このあり方の案について、少し組み立て方変えさせていただきたいと思います。それぞれの機能ごとについて書くと、やはり個別の印象になってしまうところもございますので、一体で管理し、連携しながらやっていくとそれぞれのメリットがあり、相乗効果があるのではないかというところを踏まえつつ、「それぞれの専門性を持った人がいてくださるような運営を望みます」、という表記の方が伝わりやすいし、公園でイベントがあるのをホールで連携しながらやれたりするということにも繋がっていけるような書き方にもできると考えたところでございますが、いかがでしょうか。

川名委員

ありがとうございます。多分、この後色々な考え方とかそのまとめ方というのが出てくるのかなっていうところでちょっとお話をしてみました。

石村委員

ホールの椅子は可動式移動式で決定したのでしたでしょうか。「2 木更津市の未来を担う子ども達のための文化芸術施設」というところで、「ホール機能においては、著名な音楽家等が使用したくなるような管理運営をすれば、子ども達が質の高い音楽に触れる機会が増えます。」とあるのですが、可動式という

のが私のイメージだとあまりよくなく、そのようなところに著名な音楽家が音楽をやり来るのかという印象があります。都内には本当に素晴らしいホールがたくさんある中で、この書きぶりを見ると、余りにもきらびやかだなというふうな印象を持ちました。

図書館機能においては、「相手の求め以上の情報を提供する」としているところはとてもいいのですが、何となく大丈夫かなあというような思いがあり、少し気が引けてしまったような状況です。

先程から「専門性あるスタッフを常駐させ」ということがあるのですが、一体どの程度のことが専門性のあるスタッフなののでしょうか。例えば君文さんとか南総文化ホールさんとかには、それなりの専門性を持った方がいらっしゃいます。ただそれは、ある程度の文化芸術の情報を発信するときに使えるようなスタッフであって、芸術性を求めたり違う方向性を求めるというものとは違うと思います。どのホールも主催者側が音響照明、舞台監督さん全部連れていらっしゃいますので、ある程度の万民向けの使いやすいような専門性とホールになるのではないかなという印象を持ちました。

それよりも現実的なことを積み重ね、例えば図書館の色々な歴史の資料はしっかりと未来永劫をきちんと守っていけるようにするとか、防災の機能も備えておられた施設だと思うので、そういった意味でも何かあったときには、確かに海沿いであるけれども、こんなふうに防災の拠点となるといったことも取り入れたらいいのかなという感じがいたしました。すべて読みきっていないので、その機能なども書かれていたら大変申し訳ないのですが、そのような感想を持ちました。

事務局

専門性のところや防災のことは書けておりませんでしたので、今の意見をもとに文章調整させていただければと思います。

図書館の「相手の求め以上に」というところでございますが、例えば市民の人が「スライムを作りたいのでスライムの本を貸してください」と来たとき、そのままスライムの本を調べてお渡しするだけではなく、「何でスライム作りたいのか」を聞き、「学校の授業でやるから」とか「何か面白そうな工作をしたいから」といった意見が聞き取れたら、「他に工作だったらこんな本があるよ」といったところをご紹介するため、その辺を聞き取って、相手が求めている以上の情報をお渡しするというところも図書館司書の専門性に含まれてくるのかなと思ったので、このような書き方をさせていただいたところではございます。

記載方法については、全体的に調整させていただきたくします。

水島委員

以前にもちよっとお話をさせていただいたかと思うのですが、素晴らしい施設ができ、木更津市民、市民以外の方たくさんの人たちでにぎわう施設をイメージしたときに、災害が起こったことを想定した場合の避難経路というか、避難場所といったものが一言も書かれていません。避難口の確保がどれぐらいできているのかやその避難経路について、健常者やベビーカーを押して来る方、車椅子の方や杖をついた方なども利用されると思いますので、移動が建物の中でスムーズにできるのかと気になります。それぞれの機能が緩やかに繋がることで利用者やその活動が自然に交わる環境を生み出す持続可能な公共施設となる予定です、というまとめに書かれておりますので、そういった方たちが自然に建物の中で、スムーズに緩やかに繋がることをイメージすると、スロープがちゃんとあったり、手すりがちゃんとついていたたり、段差はなるべくないように、ということも希望として入れていただけたらなと思います。

事務局

先ほどの防災拠点と合わせて、やはり災害時にこの施設が安全でないといけないというところはあるところでございますので、書き方を考えさせていただきたいと思います。

池田委員

私は交通公園というのが、どういう位置付けなのかなと思いました。小学校では交通公園まで出向いて自転車の乗り方とかを色々に使わせてもらっているところであり、学校としてはあればあるでありがたいと思っている施設ですけれども、うまく融合できればいいなと思います。

安田教育部長

自転車の乗り方教室等、近隣市にもない交通公園ですので、規模は縮小してしまいますけれども残していこうという話で、企画部の方から話をいただいています。

白石議長

皆さんの貴重なご意見いろいろありがとうございました。言い忘れたことや思いがありましたら、来週7月22日までにメール等で生涯学習課に連絡していただければ、追加してくれるとのことですよ。

それでは次第に戻りまして(3)その他について、事務局お願いします。

事務局

「君津地方社会教育委員連絡協議会研修会の実施について」という文章をご覧ください。四市の社会教育委員連絡協議会で9月25日に研修会を袖ケ浦市民会館で企画しております。事例報告として袖ケ浦市のわんぱくクエスト事業について、それから富津市の富津市図書館の今後についてという事例発表とその後グループ討議があるところでございます。他の市の社会教育委員さんともお話ができ、情報交換ができる良い機会だと思いますので、ぜひご参加いただければと思います。9月10日までにご出席いただける方につきましては、生涯学習課までご連絡いただきたいです。

白石議長

皆さんお忙しいとは思いますが、袖ケ浦市で行いますのでご都合つけて参加いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、協議を終了し、事務局にマイクをお返しします。

事務局

ご協議ありがとうございました。いただきました意見については反映させた上で改めて皆様にメール等でご意見照会をご案内させていただければと思います。

それでは令和8年度木更津市社会教育委員会議第2回定例会を終了させていただきたいと思います。本日ありがとうございました。